
やらまいか@gri forest ニュース 346号
(2024年2月15日配信)

【目次】

■--ビジネスお役立ち情報--■□■□■

1 春先の強風被害！あなたのハウスの備えは大丈夫ですか？

■--お知らせ--■□■□■

- 1 FHCaOIフォーラム「静岡が拓く食のイノベーション」の開催について
- 2 静岡県農林技術研究所 研究所ニュース（2月）について
- 3 webマガジン「a f f」1月号について

■--西部農林活動リポート--■□■□■

・西部農林活動リポート（1月）

■--ビジネスお役立ち情報--■□■□■

1 春先の強風被害！あなたのハウスの備えは大丈夫ですか？

●春先の強風被害に要注意！

農業用ハウスにとって、これから春先にかけて要注意なのが強風による被害です。園芸施設共済に加入しているハウスでは、近年、春先（2～4月）に発生した被害の約7割が強風関連の被害となっています。この時期は、水稻の育苗ハウスなどの被覆時期に当たるため、万が一の被害に備え、園芸施設共済等の保険へ加入しておくことが重要です。

●水稻の育苗ハウスなど被覆期間が短い場合は掛金が安くなります！

園芸施設共済の加入期間は1年間ですが、水稻の育苗ハウスなど被覆する期間が短い場合は、通年で被覆するハウスに比べ少ない掛金負担で加入できます。災害への備えとして、ぜひ園芸施設共済への加入をご検討下さい。詳しくはお近くの農業共済組合までお問い合わせください。

●園芸施設共済について詳しくはこちら

（リンク先：農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/i/keiei/nogyohoken/nogyokyosai/index.html#engei>

●加入者の声はこちら

（リンク先：農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/i/keiei/nogyohoken/engei_voice.html

■--お知らせ--■□■□■

1 FHCa01フォーラム「静岡が拓く食のイノベーション」の開催について

静岡県のフードテックビジネスの未来を考えるため、今年度多くの県内企業にヒアリングを行った株式会社スベックホルダーの大野氏からご講演いただきます。
また、新素材や新技術を駆使した挑戦にも焦点を当て、食のイノベーションをサステナビリティの視点から探ります。
さらに、企業の取組成果を展示するとともに参加者同士の交流の場も設け、アイデアの共有やビジネスマッチングの機会を活発化させます。

●日時

令和6年3月7日（木） 13時15分から16時30分まで

●会場

グランディエール ブケトーカイ（静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー4階）

●定員

会場80名

●参加費

無料

●申込締切日

令和6年3月4日（月）

●詳細は以下のページを御参照ください

（リンク先：静岡県ホームページ）

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/kigyoshien/shuseki/1056751/1056755.html>

2 静岡県農林技術研究所 研究所ニュース（2月）について

●視点

・林業経営の継続性の確保に向けて（技監 藤田 巖）

●研究情報

・ヒュウガナツのカットバック（伊豆農業研究センター 生育・加工技術科 科長 加藤智恵美）

・長期貯蔵に適するウンシュウミカン新品種「春しずか」の育成（果樹研究センター 果樹生産技術科 上席研究員 渡村加奈子）

●詳細は以下のページを御参照ください

（リンク先：静岡県ホームページ）

<http://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/news00080.html>

3 webマガジン「a f f」1月号について
